

## 学校支援地域本部事業

### 自治体名

岩手県野田村

### 学校数

小学校 1校 中学校 1校

### 震災後の地域の状況・仮設住宅数

「安全・安心で活力あるむらづくり」を理念とし、「防災まちづくり」「生活再建」「産業・経済再建」の基本方針のもと、村民一丸となり、復興、そして発展へ向けて動いている。仮設住宅数は、村内に5地区 106 世帯。

### <取組名> 次代を担う野田っ子たちの健やかな成長を見守り、豊かな心を育むための特別授業

#### 取組概要

実施形態 (該当に○)	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	(連携している団体等・大学の名称)
	○			
実施主体・ 場所等	コーディネーター数	ボランティア延べ人数	年間実施日数(回数)	活動場所
	1	642	69	野田村立野田中学校、等

#### 活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
	○	○	○	○	( ○ )
学校と地域の 協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
	○	○	○	○	( ○ )
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
					( )
家庭教育・ 保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
					( )
地域課題に応じた 学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
					( )

#### <取組の内容を具体的に記載>

##### ◆伝統文化活動支援

地域の方々を講師に招き、浴衣の着付け教室を開催している。浴衣を着るのが初めての生徒も多く、帯結びに苦戦しながらも真剣に取り組み、集合写真を撮影した際は、満足気な表情をしていた。講師の方が期待した「日本の伝統文化に触れ、興味、関心を深める」ことを達成できた。

##### ◆環境整備支援

老人クラブの方々に草刈り、草取りを行っていただいている。庭木の剪定が得意な方もおり、自前の剪定ばさみで庭木も整えていただいた。笑顔で「このくらいいいことじゃないよ」と話すなど、老人クラブの方々がいきいきと活動していた。

##### ◆学習支援

中学校ではソーラン節に取り組んでいる。半纏は上級生から下級生に代々引き継がれている。長く使用していると糸のほつれなど修繕が必要になってくる。地域の方々にほつれを修繕してもらい、伝統をこれからも紡いでいけるようにしている。ボランティアの方々は手さばきがとても鮮やかで、熟練の技で子どもたちを支えていただいている。



取組の変遷

準備段階

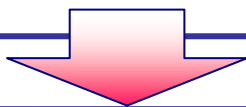
◇被災による課題

本村では、震災後4年が経過し、小中学生が設計等に関わっている都市公園事業等が進み、徐々に復興の兆しを感じられてきている。しかしながら、野田中学校の校庭には仮設住宅が立ち並んでおり、未だ復興半ばという状況である。

このような状況の中、「野田村の太陽になろう」をスローガンに、村の復興に積極的に関わっている野田中学校等、村内の学校に対して住民が直接関わることで村民全体の心の復興が進んできている。

◇住民等からの要望・必要な取組

地域住民が集まってボランティア活動などに取り組むことでコミュニティの場としての機能をもった学校づくりを進めること。



体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

- ・ 村老人クラブ(校内の環境整備、等)
- ・ 村内ボランティア等(着物の着付け、半纏ほつれの修繕)

◇取組の充実や課題解決のための工夫

本村には組織として学校支援に取り組む団体などが数多くあるわけではない。そこで、団体ではなく個人の協力を大事にして、それぞれの方と繋がりを持ちながら、学校支援を継続的に行っていただけるようにコーディネーターが個々人に声がけをしている。



成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

①学校がコミュニケーションの場に

高齢者を中心に、何らかのきっかけがないと人が集まる場になかなか顔を出さない方がいる。学校支援地域本部活動事業をきっかけに、公共の場に顔を出して、生き生きとした表情で活動をしている高齢者が多数いる。

②学校の取り組みが地域にも浸透

学校と地域住民のかかわりが増え、多くの方に学校の方針等を理解していただいている。学校では校報等で活動を地域に発信しているが、より多くの方に周知するうえで、本取組の果たす役割は大きい。

◇復興に資する内容としての数値的達成の成果

復興半ばにある本村において、ボランティア登録者数、活動実施回数、活動したボランティアの延べ人数のいずれもが増加していることから、住民の知識・経験を生かす場や集いの場となっていると言える。さらに、本取組を通して、学校と住民との結びつきが強まり、村全体の復興につながっていると考える。

＜学校支援ボランティア活動の状況＞

	H25	H26
ボランティア登録者数	27人	45人
学校支援活動実施回数	49回	69回
ボランティア数(延べ)	430人	642人

◇課題や今後の展望

より多くの方に活動に参加してもらえよう、支援活動の内容を見直しや開発を進める。また、学校内における生徒とボランティアの会話ややりとりを、校外や日常生活に広げてより身近な関係をつくっていく。